

令和3年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

令和3年5月14日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <https://www.nippon1.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川宗平

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

定時株主総会開催予定日 令和3年6月24日 配当支払開始予定日 令和3年6月25日

有価証券報告書提出予定日 令和3年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期の連結業績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 3年3月期 | 5,300 | 59.1 | 1,248 | 171.3 | 1,285 | 164.4 | 905 | 236.2 |
| 2年3月期 | 3,331 | 26.4 | 460 | 7.9 | 486 | 8.1 | 269 | 8.3 |

(注) 包括利益 3年3月期 989百万円 (227.3%) 2年3月期 302百万円 (1.5%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|-------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 3年3月期 | 179.19 | 178.55 | 22.7 | 22.6 | 23.6 |
| 2年3月期 | 53.29 | 53.03 | 8.0 | 9.8 | 13.8 |

(参考) 持分法投資損益 3年3月期 百万円 2年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 3年3月期 | 6,387 | 4,637 | 69.9 | 883.94 |
| 2年3月期 | 5,004 | 3,670 | 70.1 | 694.59 |

(参考) 自己資本 3年3月期 4,465百万円 2年3月期 3,509百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|-------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 3年3月期 | 1,553 | 552 | 83 | 3,778 |
| 2年3月期 | 476 | 117 | 336 | 1,664 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|-----------|--------|--------|--------|------|------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2年3月期 | | 0.00 | | 4.00 | 4.00 | 20 | 7.5 | 0.6 |
| 3年3月期 | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 | 25 | 2.8 | 0.6 |
| 4年3月期(予想) | | 0.00 | | 4.00 | 4.00 | | 2.7 | |

(注) 令和3年3月期期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 特別配当1円00銭

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,153 | | 867 | | 865 | | 558 | | 110.61 |
| 通期 | 4,725 | | 1,060 | | 1,057 | | 742 | | 147.02 |

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------|-------------|-------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 3年3月期 | 5,110,500 株 | 2年3月期 | 5,110,500 株 |
| 期末自己株式数 | 3年3月期 | 58,236 株 | 2年3月期 | 58,188 株 |
| 期中平均株式数 | 3年3月期 | 5,052,270 株 | 2年3月期 | 5,052,308 株 |

(参考)個別業績の概要

1. 令和3年3月期の個別業績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-------|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 3年3月期 | 2,229 | 56.1 | 473 | 86.7 | 660 | 112.9 | 467 | 129.4 |
| 2年3月期 | 1,428 | 32.5 | 253 | 39.9 | 310 | 11.0 | 204 | 115.6 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|-------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 3年3月期 | 92.63 | 92.30 |
| 2年3月期 | 40.39 | 40.19 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 3年3月期 | 3,028 | 2,555 | 78.7 | 471.86 |
| 2年3月期 | 2,683 | 2,091 | 72.0 | 382.15 |

(参考) 自己資本 3年3月期 2,383百万円 2年3月期 1,930百万円

2. 令和4年3月期の個別業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,120 | | 520 | | 387 | | 76.72 |
| 通期 | 1,913 | | 725 | | 529 | | 104.79 |

(注)2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の個別業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |
| 4. その他 | 14 |
| (1) 役員の異動 | 14 |
| (2) その他 | 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、感染症拡大の影響により極めて厳しい状況で推移いたしました。また、11の都府県を対象とした2回目の緊急事態宣言が解除されたものの、依然として先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが所属するゲーム業界では、感染症の影響でゲーム機、ソフトウェア、関連商品の生産・出荷に遅延が生じていますが、外出自粛により自宅におけるゲーム需要の増加に加え、次世代ゲーム機プレイステーション5の発売や、ゲームをスポーツ競技ととらえるeスポーツに注目が集まるなど、様々な展開を見せています。

当社グループは、このような経営環境の中、ビジョンである「Entertainment for All」の実現のため、年齢、性別、地域にかかわらずすべての方あらゆるエンターテインメント分野で楽しさを提供することを目標とし、『商品戦略』『開発力向上』『人材育成』を中期経営戦略として取り組んでまいります。

当連結会計年度における当社グループの状況は以下の通りです。

パッケージタイトルとしましては、『ボク姫PROJECT』、『少女地獄のドクムスメ』、『夜、灯す』、『MAD RAT DEAD』、『プリニー1・2』、『ガレリアの地下迷宮と魔女ノ旅団』、『魔界戦記ディスガイア6』、『void tRrLM(); ++ver;』、『英雄伝説 閃の軌跡IV』を発売いたしました。また、来期以降に発売を予定しております、『探偵撲滅』、『わるい王様とりっばな勇者』、『風雨来記4』等につきまして開発を進めてまいりました。

スマートフォンゲームアプリとしましては、『htoL#NiQ ーホテルノニッキー』、『ソリティア』、『嘘つき姫と盲目王子』、『ずけいタワー』、『プロテインシェイカー』、『殺人探偵ジャック・ザ・リッパー』、『ドミノ』、『ブロック崩し』、『ビリヤード』、『五目並べ』、『ピンボール』の計11タイトルを配信いたしました。

また、海外インディーゲームを発掘し、国内移植・販売を行うプロジェクトである日本一Indie Spiritsとしてダウンロード専用タイトル『羽ばたくヒーロー』を発売いたしました。

その他につきましては、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズを行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、他社タイトルの受託開発、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高5,300,914千円(前年同期比59.1%増)、営業利益1,248,258千円(同171.3%増)、経常利益1,285,260千円(同164.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益905,324千円(同236.2%増)となりました。なお、当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

イ 資産

当連結会計年度末の総資産は6,387,349千円となり、前連結会計年度末に比べ1,382,548千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末に比べ2,114,263千円の増加)、受取手形及び売掛金の増加(同44,685千円の増加)、有価証券の減少(同440,953千円の減少)、商品及び製品の増加(同60,506千円の増加)、仕掛品の減少(同85,779千円の減少)、前払費用の減少(同33,976千円の減少)によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の増加(同73,278千円の増加)、投資有価証券の減少(同269,820千円の減少)によるものであります。

ロ 負債

当連結会計年度末の負債は1,750,189千円となり、同415,468千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(同142,188千円の増加)、短期借入金の減少(同313,900千円の減少)、未払金の減少(同50,614千円の減少)、未払法人税等の増加(同69,923千円の増加)、賞与引当金の増加(同40,386千円の増加)、売上値引当金の減少(同25,000千円の減少)、その他の増加(同287,284千円の増加)によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(同245,000千円の増加)によるものであります。

ハ 純資産

当連結会計年度末の純資産は、4,637,159千円となり、同967,079千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加(同872,899千円の増加)、為替換算調整勘定の増加(同53,329千円の増加)、その他有価証券評価差額金の増加(同30,461千円の増加)によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,778,367千円となり、同2,087,498千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,553,460千円(前年同期は476,425千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,243,143千円、仕入債務の増加133,248千円、前受金の増加182,072千円、法人税等の支払額278,804千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、552,406千円(前年同期は117,811千円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出131,439千円、有価証券の売却による収入436,057千円、投資有価証券の売却及び償還による収入250,028千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、83,004千円(前年同期は336,767千円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額313,900千円、長期借入れによる収入251,000千円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

| | 平成30年3月期 | 平成31年3月期 | 令和2年3月期 | 令和3年3月期 |
|----------------------|----------|----------|---------|---------|
| 自己資本比率(%) | 65.0 | 65.4 | 70.1 | 69.9 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 199.6 | 200.4 | 81.8 | 93.3 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) | 1.0 | 1.0 | — | 0.2 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) | 151.9 | 163.8 | — | 758.4 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

なお、令和2年3月期におけるキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループが属するゲーム業界は、PlayStation4及びNintendo Switchの売上がハードウェア、ソフトウェアともに順調に推移しており、市場の多様化、拡大が続いております。

当社といたしましては、引き続きコンシューマーゲームを主力商品として、さらなる新規IP(知的財産)の創出に注力いたします。

令和4年3月期は、新規IPとして『探偵撲滅』『わるい王様とりっぱな勇者』等の発売を予定しております。また、自社タイトル及び国内タイトルをローカライズし、北米・欧州を中心に販売展開を継続いたします。

また、過去IPの有効活用と、新規IPの商品価値と収益の最大化を目指し、平成28年に発売いたしました『真 流行情神2』の続編である『真 流行情神3』の発売を予定しているほか、北米子会社NIS America, Inc.と連携し、Steamへ積極的に商品を展開してまいります。

上記の取り組み以外にも、他社コンテンツとのコラボレーション、トレーディングカードゲームショップ『プリニークラブ』の運営など、当社IPの価値、既存タイトルの認知度及び顧客満足度の向上を図り、収益の最大化を目指します。以上の取り組みにより、次期の連結業績につきましては、下記のように見込んでおります。

| | |
|-----------------|-------------|
| 売上高 | 4,725,604千円 |
| 営業利益 | 1,060,586千円 |
| 経常利益 | 1,057,132千円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 742,804千円 |

業績予想に関する留意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、必要な人材の育成、社内マニュアルや指針等の整備を今後進めてまいる所存です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和2年3月31日) | 当連結会計年度 (令和3年3月31日) |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,664,103 | 3,778,367 |
| 受取手形及び売掛金 | 530,237 | 574,923 |
| 有価証券 | 440,953 | — |
| 商品及び製品 | 165,790 | 226,296 |
| 仕掛品 | 418,760 | 332,980 |
| 前払費用 | 353,359 | 319,382 |
| その他 | 146,373 | 18,223 |
| 貸倒引当金 | △18,221 | △19,498 |
| 流動資産合計 | 3,701,356 | 5,230,676 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 463,585 | 536,863 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 4,638 | 6,454 |
| 土地 | 321,536 | 349,711 |
| 建設仮勘定 | 25,473 | 3,000 |
| その他(純額) | 29,985 | 34,760 |
| 有形固定資産合計 | 845,220 | 930,791 |
| 無形固定資産 | 15,983 | 13,385 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 406,986 | 137,165 |
| その他 | 35,255 | 75,331 |
| 投資その他の資産合計 | 442,241 | 212,497 |
| 固定資産合計 | 1,303,444 | 1,156,673 |
| 資産合計 | 5,004,801 | 6,387,349 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (令和2年3月31日) | 当連結会計年度 (令和3年3月31日) |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 102,521 | 244,710 |
| 短期借入金 | 430,000 | 116,100 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 6,000 |
| 未払金 | 168,609 | 117,994 |
| 未払法人税等 | 47,544 | 117,467 |
| 賞与引当金 | 99,411 | 139,798 |
| 売上値引引当金 | 298,630 | 273,629 |
| その他 | 118,961 | 406,245 |
| 流動負債合計 | 1,265,678 | 1,421,947 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 245,000 |
| 退職給付に係る負債 | 43,273 | 46,978 |
| その他 | 25,769 | 36,263 |
| 固定負債合計 | 69,042 | 328,242 |
| 負債合計 | 1,334,721 | 1,750,189 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 545,499 | 545,499 |
| 資本剰余金 | 535,499 | 535,499 |
| 利益剰余金 | 2,408,103 | 3,281,002 |
| 自己株式 | △17,117 | △17,167 |
| 株主資本合計 | 3,471,985 | 4,344,834 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △26,668 | 3,793 |
| 為替換算調整勘定 | 63,950 | 117,279 |
| その他の包括利益累計額合計 | 37,281 | 121,073 |
| 新株予約権 | 160,813 | 171,252 |
| 純資産合計 | 3,670,079 | 4,637,159 |
| 負債純資産合計 | 5,004,801 | 6,387,349 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日) | 当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 3,331,121 | 5,300,914 |
| 売上原価 | 1,426,790 | 2,415,814 |
| 売上総利益 | 1,904,330 | 2,885,099 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,444,214 | 1,636,841 |
| 営業利益 | 460,116 | 1,248,258 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 35,756 | 19,088 |
| 受取配当金 | 133 | 181 |
| 投資事業組合運用益 | — | 983 |
| 為替差益 | — | 16,721 |
| その他 | 6,231 | 5,302 |
| 営業外収益合計 | 42,121 | 42,276 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,903 | 2,048 |
| 投資事業組合運用損 | 151 | — |
| 為替差損 | 13,681 | — |
| その他 | 312 | 3,226 |
| 営業外費用合計 | 16,048 | 5,274 |
| 経常利益 | 486,188 | 1,285,260 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 1,284 | 6,235 |
| 特別利益合計 | 1,284 | 6,235 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 71 | — |
| 投資有価証券売却損 | 44,480 | 24,353 |
| 減損損失 | — | 24,000 |
| 特別損失合計 | 44,552 | 48,353 |
| 税金等調整前当期純利益 | 442,920 | 1,243,143 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 148,160 | 368,169 |
| 法人税等調整額 | 25,517 | △30,351 |
| 法人税等合計 | 173,678 | 337,818 |
| 当期純利益 | 269,242 | 905,324 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 269,242 | 905,324 |

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日) | 当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 当期純利益 | 269,242 | 905,324 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 66,189 | 30,461 |
| 為替換算調整勘定 | △33,245 | 53,329 |
| その他の包括利益合計 | 32,944 | 83,791 |
| 包括利益 | 302,186 | 989,116 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 302,186 | 989,116 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成31年4月1日至令和2年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 545,271 | 535,271 | 2,170,158 | △17,072 | 3,233,627 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 228 | 228 | | | 457 |
| 剰余金の配当 | | | △20,207 | | △20,207 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 269,242 | | 269,242 |
| 自己株式の取得 | | | | △45 | △45 |
| 連結範囲の変動 | | | △11,089 | | △11,089 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 228 | 228 | 237,945 | △45 | 238,357 |
| 当期末残高 | 545,499 | 535,499 | 2,408,103 | △17,117 | 3,471,985 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △92,858 | 97,195 | 4,337 | 113,764 | 3,351,729 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | 457 |
| 剰余金の配当 | | | | | △20,207 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 269,242 |
| 自己株式の取得 | | | | | △45 |
| 連結範囲の変動 | | | | | △11,089 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 66,189 | △33,245 | 32,944 | 47,049 | 79,993 |
| 当期変動額合計 | 66,189 | △33,245 | 32,944 | 47,049 | 318,350 |
| 当期末残高 | △26,668 | 63,950 | 37,281 | 160,813 | 3,670,079 |

当連結会計年度(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 545,499 | 535,499 | 2,408,103 | △17,117 | 3,471,985 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △20,209 | | △20,209 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 905,324 | | 905,324 |
| 自己株式の取得 | | | | △49 | △49 |
| 連結範囲の変動 | | | △12,216 | | △12,216 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | | | 872,899 | △49 | 872,849 |
| 当期末残高 | 545,499 | 535,499 | 3,281,002 | △17,167 | 4,344,834 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △26,668 | 63,950 | 37,281 | 160,813 | 3,670,079 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △20,209 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 905,324 |
| 自己株式の取得 | | | | | △49 |
| 連結範囲の変動 | | | | | △12,216 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 30,461 | 53,329 | 83,791 | 10,438 | 94,230 |
| 当期変動額合計 | 30,461 | 53,329 | 83,791 | 10,438 | 967,079 |
| 当期末残高 | 3,793 | 117,279 | 121,073 | 171,252 | 4,637,159 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日) | 当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 442,920 | 1,243,143 |
| 減価償却費 | 39,040 | 53,417 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △938 | 981 |
| のれん償却額 | — | 6,000 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1,043 | 37,609 |
| 売上値引引当金の増減額 (△は減少) | 85,328 | △28,922 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 5,072 | 3,705 |
| 受取利息及び受取配当金 | △35,889 | △19,269 |
| 支払利息 | 1,903 | 2,048 |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | 151 | △983 |
| 為替差損益 (△は益) | △129 | — |
| 固定資産除却損 | 71 | — |
| 投資有価証券売却及び評価損益 (△は益) | 44,480 | 24,353 |
| 減損損失 | — | 24,000 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △293,929 | △27,691 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △252,260 | 38,854 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △14,672 | 133,248 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △7,419 | 14,868 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △176,222 | 40,022 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △36,787 | 182,072 |
| その他 | △107,130 | 84,748 |
| 小計 | △307,455 | 1,812,205 |
| 利息及び配当金の受取額 | 47,025 | 22,106 |
| 利息の支払額 | △1,903 | △2,048 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △214,091 | △278,804 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △476,425 | 1,553,460 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △149,651 | △131,439 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,136 | △3,511 |
| 有価証券の取得による支出 | △223,847 | △5,881 |
| 有価証券の売却による収入 | — | 436,057 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △25,000 | — |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 513,283 | 250,028 |
| その他 | 5,164 | 7,153 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 117,811 | 552,406 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 208,084 | △313,900 |
| 長期借入金の返済による支出 | △528,447 | — |
| 長期借入れによる収入 | — | 251,000 |
| 株式の発行による収入 | 457 | — |
| 新株予約権の発行による収入 | 3,138 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △45 | △49 |
| 配当金の支払額 | △19,954 | △20,054 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △336,767 | △83,004 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △28,784 | 64,636 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △724,165 | 2,087,498 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,046,785 | 1,664,103 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 341,483 | 26,765 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,664,103 | 3,778,367 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日)

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日)

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品の区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

| 日本 | 北米 | 欧州 | アジア | 合計 |
|-----------|-----------|---------|--------|-----------|
| 1,131,471 | 1,501,687 | 670,048 | 27,913 | 3,331,121 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・イギリス、フランス

(3) アジア・・・ベトナム、韓国

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 |
|--|---------|
| 任天堂株式会社 | 511,644 |
| Sega of America, Inc. | 413,587 |
| 株式会社セガゲームス | 341,163 |
| SONY INTERACTIVE ENTERTAINMENT AMERICA | 335,834 |

当連結会計年度(自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品の区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | 北米 | 欧州 | アジア | 合計 |
|-----------|-----------|---------|--------|-----------|
| 1,829,787 | 2,572,091 | 800,687 | 98,348 | 5,300,914 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 北米・・・米国
- (2) 欧州・・・イギリス、フランス
- (3) アジア・・・ベトナム、韓国、中国

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 |
|--------------------------------|---------|
| 株式会社セガゲームス | 770,262 |
| 任天堂株式会社 | 749,262 |
| KOEI TECMO AMERICA CORPORATION | 569,493 |

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日)
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日)

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日)
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日)

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日) | 当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 694円59銭 | 883円94銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 53円29銭 | 179円19銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 53円03銭 | 178円55銭 |

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日) | 当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日) |
|--|---|---|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円) | 269,242 | 905,324 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円) | 269,242 | 905,324 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 5,052,308 | 5,052,270 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 25,195 | 18,214 |
| (うち新株予約権) | 25,195 | 18,214 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要 | 新株予約権2種類(新株予約権の数5,164個(普通株式516,400株)) | 新株予約権2種類(新株予約権の数5,107個(普通株式510,700株)) |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。